

令和2年度 一般社団法人南陽市体育協会

事業計画

(1) 国民体育大会選手壮行式兼第45回南陽市体育祭開会式

① 第75回国民体育大会（鹿児島大会）選手壮行式

国民総合体育大会での地元出身選手の活躍を期待し、体育協会あげて壮行式を実施します。また、今年も県少年少女スポーツ交流大会出場選手壮行式と合同で開催します。

② 第45回南陽市体育祭開会式

南陽市体育祭は南陽市体育協会の最大の事業です。広く市民に周知するために、情報網を活用し盛大に開催できるよう取り組むと共に市民参加の機会をつくっていきます。

(2) 生涯スポーツ振興事業及び競技力・青少年スポーツ強化事業

① 南陽市体育協会加盟19団体の競技力向上並びに生涯スポーツ振興事業の取り組みに対して支援してまいります。また、大きく変貌する社会環境や市民ニーズに対して各競技団体が創意工夫をしながら活用できる「生涯スポーツ振興事業」も継続していきます。

② 競技力向上事業

「競技力向上事業計画」では、「ハイレベルな選手の育成」「競技力向上対策」「ジュニアの競技力向上」の3事業を重点事業として、加盟団体、関連団体へ支援協力してまいります。

(3) 令和3年「新春スポーツ講演会」ならびに「新春スポーツ懇談会」

① 新春スポーツ講演会

令和3年の新春スポーツ講演会は、昨年、日体大と南陽市がスポーツ連携協定を締結しましたので、最初の連携事業として、日体大から講師を招聘して新春スポーツ講演会を開催することになりました。演題・講師とも未定ですが、体育協会の重点に南陽市民の健康寿命の延伸を掲げていますので、健康づくりに関連した演題及び講師を招聘したいと考えています。

② 新春スポーツ懇談会

体育協会加盟19団体の関係者が一堂に会して新春を寿ぐ恒例の懇談会です。参加者が新年の抱負や夢を語りながら南陽市スポーツの将来を展望し懇談します。

(4) 第21回南陽さわやかワインマラソン大会

南陽市主催の最大のスポーツイベントとして、県内外から2000名を超える参加

者迎えて盛大に開催されます。新型コロナウイルスが心配ですが、南陽市と協力して市民の健康づくり、生涯スポーツ振興及び観光の振興、地域の活性化を目指して行きます。

さらに大会を盛り上げるためにゲストとして吉田香織選手をお迎えして、多くの市民の皆さんに雄姿を見ていただく予定です。本年度も選手の安全確保のため、交通止めや交通規制が行われます。ご協力よろしくお願い致します。

(5) 健康とスポーツ振興等に関する市民意識調査の具現化

平成31年に実施した市民意識調査の結果は次の通りでした。意識調査の結果は今後の活動に活かして参ります。

- ① 健康に対する認知度は非常に高く、健康の3要素である「栄養」「休養」「運動」を普段より意識して生活していることが分かった。

特に健康寿命を延ばすことに関心のある方は約90%という結果となりました。今後は定説な食生活や運動の習慣化を図る対応策が必要であると考えます。

- ② スポーツや運動の実施頻度について、女性の30歳～50歳台の方の実施頻度が低いことから、女性のスポーツ参加を促す施策が必要である。
- ③ 回答者の約8割の方が、今後、健康のためにスポーツや運動を続けたい、やりたいと回答されているので、参加を促す施策が必要である。
- ④ 冬季間の運動施設が欲しい。(別掲グランドデザイン構想)
- ⑤ 1日30分以上、週1回以上スポーツや運動を行った人は、約3割という結果でした。

(6) スポーツ施設グランドデザインプロジェクト委員会

定期的に委員会を開催し、加盟団体からの要望を整理し、グランドデザインを作成しています。グランドデザインは、冬期間のスポーツ施設として多目的に利用できる「屋内スポーツ施設」の設置に向けて取り組んでいきます。

(7) 指導者研修会の開催

競技スポーツの振興・強化を図るためには、ジュニア期からの計画的な強化策および指導者の一貫した指導体制の確立が大切です。

昨年度は、スポ少や部活動の指導者、教育委員会の方々の情報交換の場として、貴重な意見をお聞きしました。その中から、働き方改革や少子化の問題もあり、小中学生のスポーツ指導にあたり、厳しい状況になっていることが分かりました。様々の課題は、一挙に解決できるものではありませんが、研修会を継続して実施していく中で、対処していきたいと思っています。

今年度は、昨年度の成果を踏まえて「小中学生に運動の楽しさを教える指導のありか

た」をテーマにして、中央からの講師を招聘し研修するとともに、実態に沿った指導の在り方についてのパネルディスカッションや意見の交流をしながら、指導者のレベルアップに繋げていきたいと思ひます。

(8) 専門部の活性化

① 広報部

広報部は、体育協会広報誌及び機関誌の発行が主たる目標となります。また、スポーツコラム欄を設けて、関係者からの協力を頂き「軽スポーツの効果」「食事の工夫」「指導の実態」など市民の皆さんに、関心を持って貰えるような内容としたいと思ひます。

② 強化振興部

体育協会の重点の一つが競技力の向上です。今年度は日体大と南陽市が連携協定を結んでいますので、日体大のご協力を頂きながら研修会、講習会、競技力向上のため事業を通して、強化していきます。特に、ジュニア強化のため「選手育成強化事業」「指導者の育成事業」に力を注いでいきます。

③ スポーツ医科学部

スポーツ医科学部は、市民の運動や栄養に対する意識向上のための講演会やスポーツに係わる講師の研修、体協だよりを通して、スポーツによる怪我の予防、生活習慣等のアドバイスをしてもらいます。

④ 財務部

財務部は、財務部会を開催し、予算化された各種事業の各団体への配分する基準の決定や、申請内容を検討し、配分基準及び配分額を役員会や理事会に提案します。

(9) 本部事業

① 表彰

本市体育・スポーツの普及とその向上と発展に尽くした功労者、競技成績優秀者に対しての殊勲賞、体育スポーツの普及に物心両面で協力頂いた方への感謝状を規定に基づき表彰します。

② スポーツモラル及び「いじめ防止」の普及推進

南陽市体育協会では、冊子「スポーツを通して人を育てる」を中心にスポーツにおける規律やルールを順守する精神の育成、スポーツマンシップを発揮できる人づくりに取り組んでいます。今後とも、いろいろな機会を利用して、スポーツモラルの育成普及に取り組んでまいります。

また、小中学校の児童生徒間でのいじめについても「いじめ防止」の意識づくりに取り組んでいきます。

③ 各種会議

- 新春スポーツ講演会・懇談会実行委員会
 - 念頭所感 少林寺拳法協会、バスケットボール連盟
 - 実行委員 専務理事、常務理事、各団体より（輪番制）
- 専門部会
 - 財務部会、 広報部会、 強化振興部会、 スポーツ医科学部会
- 本部役員会（年 10 回程度）
- 理事会（本部役員、各団体理事、年 2 回）
- 体育協会加盟団体長会（本部役員、年 1 回 6 月 26 日予定）
- 東置賜地区体育協会連絡協議会、理事会（会長、副会長、専務・常務理事）
- 南陽市スポーツ振興審議会（会長）
- 南陽市スポーツ振興基金運用委員会（会長、副会長、専務理事）
- 山形県体育協会理事（平成 31 年度～令和 2 年度）
- 山形県体育協会評議員（平成 31 年度～令和 2 年度）